





- ●食料・水・雨具を準備しましょう。
- ●軽装は避け、着替えやタオルなどは多めに持ちましょう。
- ●単独での入山は避け、経験者と行動するようにしましょう。

【入山者へのお願い】

- ●自動車道は天候によって悪路となりますので、車高の高い自動車などを使用してください。
- ●登山道には足場の悪い箇所がありますので、歩行の際は 足下にご注意ください。
- ●登山道歩行の際、頭上から枯れ枝などが落下することがありますのでご注意ください。
- ●樹木を傷つけたり、草花を採取しないでください。
- ●天候の悪い日、夕暮れ時など暗くなる時間には入山しないでくだざい。また、計画的な下山をお願いします。
- ●火の不始末、特にタバコの投げ捨ては絶対にしないでください。
- ●ゴミは各自必ず持ち帰ってください。



緊急連絡先

●蓬 囲 材 役 場/TEL.0174-27-2111

- ●蓬田診療所/Tel.0174-27-2011 ●外ヶ浜警察署/Tel.0174-22-2211
- ●外ヶ浜中央病院 / Tel.0174-22-3450





卜倉岳~赤倉岳コース [所要時間220分)

おすすめ周回コース

急坂が下りとなる時計回りコースがおすすめ。

国道280号バイパスを青森市より北上、蓬田村へ入り「サークルK | を過ぎたところ の信号に「大倉岳」への白い道案内板があり、そこを左折し、舗装道路なりに進むと開 けた水田地帯に出て前方(西方)に大倉岳、赤倉岳が望める。

その舗装道路なりに山の方へ続く道を進むと砂利道になり、北海道新幹線高架橋 が出てくる。その下をくぐり、そこから道なりに約4km進むと「橋のない川」(水深約 20cm) があり、自動車はここの空き地に駐車する。

ここから徒歩で5分くらい進むと「大倉岳・赤倉岳・袴腰岳登山案内図」の看板と道標 がある(登山口B点)。標識に従い、直進すると徒歩10分くらいで大倉岳登山口に到 着する(登山口A点)。

登山口の看板の横を下り、小川を渡って尾根道 にとりつく。ジグザグや直進を繰り返しながら高 度を稼ぐとブナ、ヒバの混生林からヒバの林にな り、急な登りに入る頃からブナ林へと変わる。ジ グザグ道より後方を振り返ると陸奥湾、下北半 島の山々が見渡せる。そこから少し下ってまた登 りになる。青森市後潟分岐を通過し、間もなく七 曲がり(15カーブ)の登りになる。

七曲がりを登り切ると青い避難小屋(トイレ有 り)が現れる。ここで十分休憩した後、そこから



10 10 15 15 10 20 15

10分くらいで前大倉岳頂上となり、目の前に大倉岳が現れる。いったん下って祠のあ る鞍部を通過し、また登り始めてすぐに大倉分岐に出会う。あとは、最後の登りになり、

一気に急登すると赤い鳥居が見え、大 倉岳頂上 (677.0m) である。大倉岳神 社を参拝後、昼食をとりながら陸奥湾や 夏泊半島、下北半島が見渡せる大パノ ラマを堪能していただきたい。

休憩後、同じ道を大倉分岐まで下り、 左折してブナ林の登り下りの尾根道を 進む。間もなくすると赤倉分岐に出会 う。標識に従い直進し少し下ると、赤倉



岳への登りになる。草木が無くなり視界が開けると赤倉岳頂上は目前である。頂上 (563.0m) には赤い祠があり、ここもまた眺望が素晴らしく、後方に大倉岳、北側に袴 腰岳などの山々を望むことができる。

山頂の鳥居をくぐると、下り道になり、下りきったあたりからブナ林になる。鳥のさえ ずりを聞きながら平坦地をしばらく進むと、急な下り坂になる。足もとや落石に十分気 を付けながら下り、しばらく尾根道を進むと二股分岐に出会う。ここは直進し、しばら く緩やかな下り道のヒバ林を進む。尾根道が終わり小川を渡ると、まもなく「案内板」 へとたどり着く(登山口B点)。左折し、駐車場へ帰る。

き腰岳コース 【所要時間:往復270分】

青森市より国道280号バイパスから蓬田村へ入り、信号(大倉岳~赤倉岳コース)を 過ぎるとまもなく左手に「村の駅よもっと」があり、さらに約400m進むと左手に「蓬田 城址」、「袴腰岳」、「赤倉岳」への白い道案内板があり、そこを左折するとすぐに「蓬田 八幡宮(蓬田城趾) が現れる。

道なりに山手(西方)へ進むと北海道新幹線の高架橋が現れ、その下をくぐり、林 道を標識に従い進むと無線中継所が現れる。その前の空き地が駐車場となり、空き地 に袴腰岳登山口の看板がある(登山口C点)。

いったん下りとなり尾根道を進む。尾根 沿いに登り下りを繰り返しながら、しばら く進むと鍋森山 (548.0m) の頂上に着く。 ここは、展望がきかず木立の中の小高い 丘という感じで、道ばたに三角点の石柱が



これよりいったん下り、しばらく進むと右手前方に袴腰岳が望めるようになる。また しばらく進むと袴腰分岐に出会う。これより目指す頂上までは30分ぐらいの最後の登 りになる。

頂上が近づくにつれて登山道脇のチシマザサの背丈が低くなり視界が開け、小さな

鳥居と詞が見えてくる。ここが袴腰岳頂上 (627.8m) である。頂上一帯は風が強いため草 木は伸びず、絨毯を敷き詰めたような風衝草地 となっている。ここからの展望は素晴らしく下北 半島、北海道も望め、360度に広がる大パノラ マを楽しむことができる。

ゆっくり休んだら、登って来た道を帰る。



【所要時間往復80分】

青森市より国道280号バイパスから蓬田村へ入り、しばらくすると右手に「ローソン蓬 田瀬辺地店」が現れる。そこからさらに約2km進むと右手に看板「瀬辺地自治会入口/ 黒滝へ」があり、それに従い、バイパスの下をくぐり、山手 (西方)へ向かう。その道なり に進み「北海道新幹線蓬田トンネルの電気施設」、続いて瀬辺地開拓(牧場)を通過し、 そのまま道なりにしばらく行くとY字路になり、標識に従って右手の道に進む。ここから先 は非常に悪路となる。

あとは林道なりにしばらく行くと「黒滝」の標識がある尾根に着く(登山口D点)。ここ の左手が入口となっている。ここに駐車し、あとは徒歩となる。

平らな道をしばらく進むと右側の沢に降りる「黒滝へ」の標識があり、ヒバ林の間の急 な歩道を沢まで下る。沢へ出たら上流を目指す。帰り間違わないために、この地点を覚 えておく。

沢沿いに10分ほど進むと、滝の音が聞こえ始め、まもなく黒滝(高さ11m)に到着する。 マイナスイオンを堪能した後、来た道を帰る。



沢沿いを歩いて黒滝へ



ナラタケ (サモダシ) の群牛



入山者の皆さんを

大倉岳には、山の仲間たちが自力で作り上げた 手作りの避難小屋 (トイレ有り) があります。山 好きの仲間たち13人が「仲間と一緒に山に登り、 ふるさとの山をもっと知ろう」と大倉山好会を結 成したのが昭和50年。

1年間に最低1回は大倉岳に登るのが会員の資 格。この仲間たちが設計、資材集め、荷揚げ、建

設までを全部自分たち でやりとげ、小屋が完成 したのは昭和51年。小 屋は会員がマメに修理し 大切に使われています。



海の幸・山の幸が盛りだくさん 津田村の特産品

よもぎた物産館 マルシェよもぎた

村の駅よもつと





桃太郎トマト 青森県東津軽那落田村 大字郷沢字浜田地内 電話/0174-31-3040 定休日/5月~10月無休 11月~4月火曜日、正月1、2、3日

時間/8:00~18:00 (5月~10月)、 9:00~17:00 (11月~4月) 新鮮な野菜を売る市場として特産品がいっぱい!中でも、特産のトマトを

使った加工品が一番のおすすめ。海を眺めながらの食事や買い物を楽しん だり、ドライバーの疲れを癒すポイントとしてもご利用いただけます。



とまとけちゃっぷ





トマトソース(各種)





水揚げされたばかりの新鮮な魚介類と、蓬田村をはじめとする津軽半島 の新鮮な農産物や加工品が並ぶ、食事もできて観光の中継地点に最適。 普通のおにぎりの2倍以上ある特大おにぎりが大人気です。

●営業時間 / 8:00~18:00







おにぎり(120~150円) ※普通のおにぎりの2倍以上



140人収容の大浴場と打たせ湯、 ウナを備えたいで湯は、観光客と村 民との会話を楽しめるふれあいの場 です。ゆっくりと大自然を満喫した 後は、のんびりゆったりと温泉でひ と休み。



- ●〒030-1203 青森県東津軽郡蓬田村大字郷沢字浜田136-4
- ●電話:0174-27-2170
- ●開館時間:9:00 ~ 21:00
- ●休館日:毎週火曜日
- ●入浴料:大人350円・中人(小・中学生)140円・小人(幼稚園以下)60円 ※毎週土曜日は中学生までの入浴料が無料
- ●休憩室:大人300円・中人 (小・中学生) 140円・小人無料、個室 (3室あり) 2,000円
- ●泉質:ナトリウム塩化物強塩泉
- ●効能: きりきず、やけど、疲労回復 など
- ●食事: たまごかけご飯170円 (トッピング各20円)、かけそば・うどん380円

